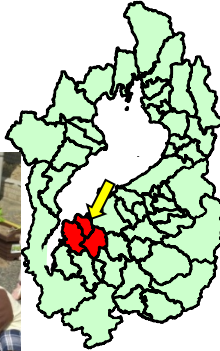


JAおうみ富士ファーマーズ・マーケットおうみんち (滋賀県守山市)

～「農」と「食」の総合コーディネート～

代表者:代表理事理事長 石田 佳寿
所在地:滋賀県守山市
構成員:職員11名・生産者約500名
活動開始年:平成20年



表彰理由

JAおうみ富士は管内の人口増加、安全・安心へのニーズの高まりを「地産地消」「地域農業振興」の好機ととらえ、平成20年に直売所にレストランなどを併設したファーマーズ・マーケットおうみんちを開設。

担い手の育成を図るため、直売所を農家のトレーニングセンターと位置づけ、栽培方法から出荷に当たってのルール、食の安心・安全対策、環境にこだわった農産物の栽培などの研修会を実施。また、地域の子ども達や消費者を対象に農業体験などを行う「畑の学校」や会員制の「青空フィットネスクラブ」などを開催している。農業者の育成により、農産物の生産が大きく増加したことで、地域農業の活性化とともに農家の所得向上につながっている。

地元農業を支援する人材の育成や環境保全、食育など、生産から食までをつなげる様々な取組を行っていることが評価された。

取組内容

1. 担い手の育成と消費者ニーズに応じた生産

- 直売所を農家のトレーニングセンターと位置づけ、栽培方法から出荷に当たってのルールの理解、食の安心・安全対策などの研修会を実施。平成22年からは意欲ある農家をグループ化し、環境にこだわった農産物の栽培や6次産業化を推進している。
- 関係機関と連携し、地域の直売所の売れ筋品目を調査。消費者ニーズに合わせた60品目の栽培カレンダーを作成している。

2. 環境にこだわった農業生産

- 滋賀県が推進する琵琶湖の水質環境に配慮した「環境こだわり農業」に取り組む農家を増やす「作ってエコ活動」を展開。取組農家は平成24年で40名となった。直売所への環境こだわり農産物コーナー設置や併設レストランでの使用など、消費者への橋渡しとなる「つなげてエコ活動」・「食してエコ活動」を展開している。

3. 多様な販路の開拓

- 県内の量販店や生協と連携し、地場産物を販売するインショップの取組を10箇所で設けるなど、市街地をはじめ、広く気軽に地場産物の購入ができるように取り組んでいる。
- 市が試験的に始めている「スクールランチ」への食材提供や、専用の移動販売車を導入した出前販売の取組を行っている。

4. 地域の子ども達への食育の取組

- 地域の子ども達に地域の農と食を理解してもらおうと、「畑の学校」というイベントを開催し、地域特産のなばなの栽培から収穫、料理体験を実施。また、直売所などで中学生の職業体験を積極的に受け入れ、農業の大切さを教えている。
- 平成24年から「キッズ・ファーマーズ」事業として、管内の小学校16校に助成金を支給し農業体験活動を行う取組を始めている。

5. 消費者との交流

- 市民農園「おうみんち農園」を開設し、市民と生産者のコミュニケーションが図られるようになった。また、「青空フィットネスクラブ」という会員制クラブを開講し、農業体験イベントや料理教室などを実施している。こうした取組を通じて、農家が高齢化した際の「援農制度」など、地元農業を支援する人材の育成を図っている。